

令和8年度10月入学・令和9年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【外国人留学生特別選抜】

言語文化学専攻 日本アジア言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和8年8月28日（金）

注 意

1. この冊子には、次のとおり、3分野、合計6題の問題が綴じられている。
(総ページ数 — 10ページ)

A群（AⅠ～AⅣ）

B

C

試験開始に際しては、まず、上記のとおり全問題があることを確認し、脱落がある場合は、挙手により監督官に申し出ること。

2. 各受験者は、A群のうちからいずれか1題を選び、BおよびCの問題と合わせて解答すること。
3. 解答に際しては、A・B・Cそれぞれ指定された解答用紙を用いること。
(裏面も使用してよい。)

なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号及び氏名を記入すること。

4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

A-1 つぎに掲げるのは、『萬葉集』巻一の五〇番歌の訓み下し文である。これを読んで、あとの問いに答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(小学館新編日本古典文学全集『萬葉集』による)

(注) ○ つまで…丸太。 ○ 身もたな知らず…我が身を省みることなく。 ○ 図…祥瑞の模様。

問一 傍線部1「みあらかは 高知らさむと」とあるが、誰がどこで何をすることを表しているか、簡潔に記せ。

問二 傍線部2「天地も」とあるが、この「天地」と並列されているものは何か、本文から抜き出せ。

問三 波線部A Bの枕詞について、

(A)「やすみしし」は、漢字原文「八隅知之」とある。この漢字表記の特徴について説明せよ。

(B)「玉藻なす」は、どのようなさまを比喩的に表しているか、説明せよ。

問四 【】部分では、地名「巨勢道」「泉の川」を導くためにどのような技法が用いられているか、それぞれ詳しく説明せよ。

問五 傍線部3「神からならし」が、「神ながらにあるらし」に同じとすると、「らし」と判断されていることの根拠は何か、歌全体を踏まえて詳しく説明せよ。

問六 左注に見える「日本紀」について知るところを詳しく述べよ。

AⅡ つぎの文章は、『源氏物語』朝顔巻の一節である。源氏が紫の上とともに昔今の女性達を批評した後の場面である。これを読んで、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(注) ○女君——紫の上。○宮——藤壺の宮。○この二つ事——源氏との密事。○内裏——冷泉帝。○みつの瀬——「水」と「三つ」を掛ける。「三つの瀬」は三途の川のこと。

- 問一 文中の影印部分について翻字せよ。漢字仮名の別等はもとのままとすること。
- 問二 傍線部①について、解釈せよ。
- 問三 傍線部②について、現代語訳せよ。
- 問四 傍線部③について、誰が何について「飽かず悲し」なのか、具体的に説明せよ。
- 問五 傍線部④について、現代語訳せよ。
- 問六 傍線部⑤について、解釈した上で、この和歌を詠んだ源氏の心情を詳細に説明せよ。
- 問七 『源氏物語』の和歌について知るところを詳しく述べよ。

A III

つぎの文章を読んで後の問に答えよ。この文章の初出は大正七年一〇月『新潮』、引用本文は大正一〇年刊行の著者の全集による。なお、印刷不鮮明箇所は、出典の状態によるものである。

問一 ↓

問二 ↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問三
↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問四 ↓

問五 ↓

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問一 傍線部1「平面的描寫論」について説明せよ。

問二 傍線部2について、どういうことか、説明せよ。

問三 傍線部3「この人生論」とは、どのようなものか、説明せよ。

問四 傍線部4について、なぜそのように言えるのか、説明せよ。

問五 二重傍線部「一元的描寫」について

(a) どのようなものか、詳しく説明せよ。

(b) 「一元的描寫」を「焦点化」という語を使って簡潔に説明せよ。

問六 この文章の著者の名前を答えよ。

A IV つぎの□・■の間に、すべて答えよ。

□ つぎの文を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(注) ○庸作——雇われ仕事をする。

(『五絃志』による)

問一 傍線部1を現代日本語に訳せ。

問二 傍線部2の詩句について、平仄を示せ。平は○、仄は●、韻字は◎を用いること。

問三 傍線部3を書き下せ。

問四 傍線部4を現代日本語に訳せ。

問五 駱賓王について、知るところを述べよ。

□ つぎの文は、文法現象を切り分ける様々な観点のうちのひとつについて述べたものである。これを読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(《语言学常识十五讲》による)

問1 下線部aを日本語に訳せ。

問2 下線部bについて、どのようなことを言ったものか、日本語で説明せよ。

問3 下線部cを日本語に訳せ。

問4 下線部dについて、なぜそのように言えるのか、本文に即して日本語で説明せよ。

B つぎの事項のうち、いずれか任意の五つを選んで説明せよ。なお、それぞれの解答のはじめに、何番の事項についての解答であるかをかならず明記すること。

- ① 山上憶良
- ② 『大和物語』
- ③ 宗祇
- ④ 『世間胸算用』
- ⑤ 『文学界』（雑誌）
- ⑥ 小林多喜二
- ⑦ パンの会
- ⑧ 転向文学
- ⑨ 主語、主題、主格
- ⑩ 開合
- ⑪ 歴史的仮名遣い
- ⑫ 役割語
- ⑬ 『山海経』
- ⑭ 『文心雕龍』
- ⑮ 辺塞詩
- ⑯ 『太平広記』
- ⑰ 金聖嘆
- ⑱ 老舍